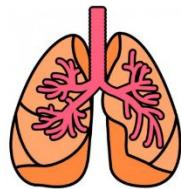


肺がん検診（肺ドック）の紹介



肺ドックとは？

CT 装置を利用して胸部(肺)の様子を観察する検査です。胸部 X 線検査(胸部レントゲン)だけではわからない微小な病変の評価や、心臓や肋骨に隠れて見づらい箇所でも CT 検査では観察することが可能です。当院では 1mm 間隔で画像を表示して、評価しています。

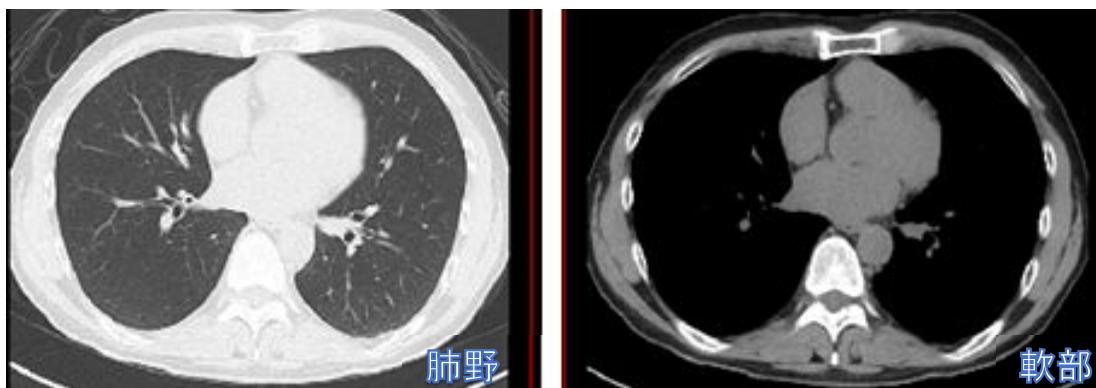
肺がんについて

最新の資料によりますと、2014 年のがん死亡者数の順位は以下の通りです。これらの統計から今後肺がんに罹患する人数と死亡者数は共に上昇傾向であることが予測されています。

	1 位	2 位	3 位
男性	肺	胃	大腸
女性	大腸	肺	胃
合計	肺	大腸	胃

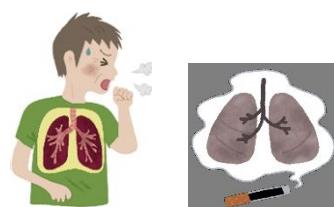
当院での肺ドックの特徴

当院では 2013 年 7 月に新たに CT 装置を更新しました。また医療被ばく低減施設認定を取得した経緯もあり、積極的に被ばくを低減させた検査方法に取り組んでいます。装置の性能を活用すると共に画像表示方法の新技術を組み合わせるなどして、当院での肺ドック検査は、従来の胸部 CT 検査よりも約 40% の被ばく線量を削減して検査を行っています。被ばく線量を削減しても肺の様子はもちろん、軟部組織の様子も観察することができます。検査中に呼吸を止めていたり時間は約 5~8 秒ほどで、検査時間は 5~10 分程度で終了します。下に実際の画像を提示します。左側は肺野の評価用、右側は軟部組織の評価用の画像です。



特に以下の条件に当てはまる方は検査をおすすめします。

1. 喫煙者の方
2. ご家族に喫煙者のいる方
3. 親族に肺がんや肺の疾患がある方 など



肺ドックの受診は肺がんだけではなく、胸部に関する疾患の早期発見につながります。検査をご希望の方は健康管理課までご連絡下さい。

Tel:047-476-5134(直通)